



# 火災予防ニュース

第9号 2019年3月4日 苫小牧市消防本部予防室発行

## 「共同住宅における火災予防について」

苫小牧市内での1年間（2018年）の火災件数は47件、そのうち生活拠点となる住宅の集合体である「共同住宅」の火災が12件と多く発生し、残念なことに3名の方が火災により亡くなられています。

さらに、今年に入り「共同住宅」での火災は、既に3件発生しています。主な出火原因については、**たばこやストーブ、コンロ**によるものです。

皆様のご家庭において、自分と家族の大切な命、そしてご近所の方の安全を守るために、住宅防火のポイントとして、次の項目を日頃から心がけていただきますようお願いいたします。

🔥 寝タバコは絶対にしない。吸い殻は火が完全に消えてから捨てる！

🔥 ストーブの周りに燃えやすい物を置かない！



🔥 調理中、ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す！

なお、別紙として「住宅防火診断チェック」表を添付していますので、ご活用いただきますようお願い申し上げます。

# 住宅防火診断チェック



みなさんのご家庭での防火に関する  
普段の心がけをチェックしてみましょう！

<input type="checkbox"/>	コンロのそばを離れるときは、必ず火を消している。
<input type="checkbox"/>	コンロの周りはいつも整理整頓している。
<input type="checkbox"/>	コンロに火をつけたときは、火がついているか、火を消したときは火が消えているか実際に目で見て確認している。
<input type="checkbox"/>	グリルを使ったときはその都度掃除している。
<input type="checkbox"/>	廊下や階段部分に、避難の際に障害となるものを置かないよう注意している。
<input type="checkbox"/>	家の周りに燃えやすい物は置かないようにしている。
<input type="checkbox"/>	マッチ、ライターは子供の目の届かないところに置いている。
<input type="checkbox"/>	寝たばこは絶対にしないようにしている。
<input type="checkbox"/>	吸殻を始末するときは、完全に火が消えたのを確認してから始末している。
<input type="checkbox"/>	電気コードが家具等の下敷きになったりしていないか注意している。
<input type="checkbox"/>	たこ足配線はしないように注意している。
<input type="checkbox"/>	電気プラグは、定期的にコンセントから抜いて掃除をしている。
<input type="checkbox"/>	お風呂を沸かすときは、水がはいっているか確認してから火をつけている。
<input type="checkbox"/>	ストーブを使うときは、周りに燃えやすい物がないか十分確認している。
<input type="checkbox"/>	寝るときはストーブの火を消している。
<input type="checkbox"/>	石油ストーブは必ず火を消してから給油している。
<input type="checkbox"/>	電気・ガス器具等、器具の調子が悪いときは、早めに専門の人に点検や修理をしてもらっている。
<input type="checkbox"/>	外出時や就寝時は火の元の確認をしっかり行っている。
<input type="checkbox"/>	住宅用火災警報器は点検ひもや点検ボタンで定期的に作動確認している。
<input type="checkbox"/>	消火器はすぐ取れる場所にあり、使い方を知っている。

火災対策が「命」を救う！！